

【地域支援ネットワークの強化】 課題と検討の視点

課題項目	検討の視点(案)	備考
<p>■隙間のない連携のネットワークを作るには</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個別ケース会議は適時、適切に開催されているか 参加機関は十分か ○情報の共有化、役割分担は適切に行われているか ○アセスメント評価は共有化しているか ○情報の抱え込みによる連携の隙間が生じていないか ○進行管理会議は有効に機能しているか(全件確認の徹底) ○実務者会議は有効に機能しているか 	<p>■要保護児童対策地域協議会の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個別ケース検討会議の運営を強化するには 【参考】虐待対策コーディネーターの設置(23年度～) ○協議会のエリアスパンの適正化について ○協議会内でのリスクアセスメントシートの共通化の徹底 ○協議会での情報共有化の徹底 ○進行管理会議の適切な運用の徹底 ○有効な実務者会議のあり方について 	<ul style="list-style-type: none"> ○死亡検証部会の提言 「個別検討会議の活用」【資料】 (21年度、22年度、江戸川) 「アセスメントシートの共有」(20年度)【資料】 「ネットワーク機能の向上」(20年度)【資料】 ○支援センター相談体制調査【追加資料】 ○要保護児童対策地域協議会 ・「代表者会議」「実務者会議」の実施状況【追加資料】 ・「進行管理会議」の実施状況【追加資料】 ・「個別ケース検討会議の実施状況【追加資料】 ・運営で困難に感じていること【追加資料】
<p>■児童相談所と子供家庭支援センターのなど 援助主担当機関間の協働体制に隙間はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報の共有化は図られているか、ケースの見立ては一致しているのか ○両機関の連携ルールは適切に運用されているのか 「情報提供」「送致」「援助要請」で生じる援助の隙間 ○児相と支援センターのマニュアルは整合性が図られているか ○児相の区市町村支援は十分行われているか 	<p>■子供家庭支援センターと児相との連携のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○法的権限を持つ児相と地域資源を持つ支援センターとの役割分担の点検 ○連携のルール(東京ルール)の点検 ○児童相談所、支援センター共有ガイドラインの作成 (役割分担、東京ルールの点検等を反映) ○児相(チーフ)から支援センターへの地域支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度子供家庭支援センターの相談体制調査の集計結果【追加資料】 ○子供家庭支援センターの運営状況【追加資料】 ○子供家庭支援センター相談職員配置状況【追加資料】 ○東京ルールの概要【追加資料】 ○死亡検証部会の提言 「東京ルールの再認識」(20年度)【資料】 ○児童相談体制(チーム制)の強化【追加資料】 ○任期付児童福祉司の状況【追加資料】
<p>■医療、教育部門との連携が十分ではない</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相談援助部門との連携は図られているか ○保護者との摩擦を考慮して通告に躊躇する傾向はないか (通告のマニュアルができないか) ○組織内での情報の共有化が十分図られているか ○精神疾患を持つ親の主治医との連携は図られているか? 	<p>■保健、医療、教育など各部門との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○要対協における連携の強化 ○医療機関、教育機関向けマニュアル、研修の徹底 ○橋渡し役の設置による連携機能の発揮 医療保健機関とのコーディネーターの設置(緊急提言) 教育:スクールソーシャルワーカー、養護教諭、校医との連携 ○学校等における出席状況の定期的な情報提供の適切な運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関からの虐待通告の状況【追加資料】 ○医療機関における虐待対応力強化事業【追加資料】 ○教員向け児童虐待防止研修セット(教育庁作成)【追加資料】 ○「かかりつけ医・歯科医のための児童虐待対応ハンドブック」 (福祉保健局作成)ほか【追加資料】 ○死亡検証部会の提言 「CAPSの設置」(江戸川)【資料】 「抱え込み解消、スクールソーシャルワーカー等の活用」(江戸川)【資料】 ○子供家庭支援センターと母子保健部門の連携状況【追加資料】 ○子供家庭支援センターと母子保健部門との連携効果、 児相以外の連携先【追加資料】
<p>■在宅のハイリスク家庭、再統合家庭への支援が十分ではない</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童相談所の保護者指導は十分機能しているのか ○援助機関の役割分担が不明確 ○地域の資源、民間団体等外部機関との連携は図られているか(地域資源、民間団体の脆弱な現状) ○見守りや親との関係、家族支援に関する具体的技術が不足しているのでは? 	<p>■地域における家庭への支援・見守り体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一時保護後、家族再統合後の保護者指導の充実 ○要対協における保護者支援の充実(ルール化) ○民間団体など第三者機関との連携の検討 ○具体的援助技術・ノウハウの普及 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者指導措置したケースの指導内容【追加資料】